

事業所名		公表日				
児童発達支援 ジョイジョイ		令和7年4月9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	小学生以上との同日の活動日は配慮している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	1対1、もしくはスタッフ1人に対して利用者2人で配置している。 4人のグループの時は3人配置している。	来年度は個別療育になるので、1対1になるが、安全面への配慮はしていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	空間が広すぎて子どもが落ち着かない場合は、パーテーションで区切っている。	パーテーションや部屋を区切るなどの配慮を続けたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	活動に集中しやすいように、必要に応じてパーテーションを使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	パーテーションを用いて、構造化を図っている。 個別の部屋はないが必要に応じてパーテーションを使用し、落ち着いて集中して過ごせるようにしている。 パーテーションを使って個室にしたり、場所を移動する場合もある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	月1回のミーティングで確認している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	定期的な全体ミーティングの中で、評価表をもとに話し合う機会を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングや個別で話し合うこともある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	法人の役員会で意見を聞いている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	内外での研修に定期的に参加、開催している。 市内での研修、文字・数字を中心とした研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎月定期的な会議を行い、利用者の様子や支援について話し合い、共通理解の場を設けている。 複数でチェックし、担当職員にも目を通してもらっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	日々振り返りながら、支援計画を確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別は1対1で子どもが苦手と思われる所を支援し、集団ではテーマを決めて活動している。	集団の活動は異年齢にはなるが、就学を見据えて、機会を設けたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	出勤時間に時差があるため、打ち合わせできない時もあるが、ミーティング等で確認している。 出勤時間の関係で、当日の打ち合わせができない日もあるため、別の日に確認することもある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	退勤時間が異なるため、出来ない日もあるが、日誌に記録するなどして後日共有している。 送りの添乗等でできない時は、後日行っている。 改まった会議ではないが、反省をしながら、コミュニケーションを図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席することが多いが、担当者が出席する場合もある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	保育園・幼稚園の様子を見に行くこともある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	契約中、1回は園に訪問し、情報共有を図っている。園に迎えに行く子どもに関しては、園の先生と情報共有をこまめに行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0%	100%	学校や保護者から要請がないため、直接学校への情報共有はしていない。移行時に保護者面接は行っている。 保護者の希望があれば、保護者を通して行う。 あまり機会が設けられていない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	31	(31は、事業所のみ回答)				相談員がついていないお子さんが多いが、児童発達支援センターには積極的に助言をいただくようにしたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	67%	33%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	教会学校に行っている子どもがいる。教会学校のクリスマス会の案内をした。母体の教会でのイベント等に案内している。	法人外への地域の連携については、声をかけながら友好的な関係でいたいと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	今年度もペアレントトレーニングを実施した。今年度は5回シリーズで2回のペアレントトレーニングを実施した。	今年度も開催を考えている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		6ヶ月に1度の面談を通して、保護者の意向にしっかりと耳を傾けたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	6ヶ月毎の面談や送迎時にお話を伺うようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	親子クリスマス会への参加があり、保護者が顔を合わせる機会になった。年1回クリスマス会で、ご家族の参加を呼びかけたり、保護者への研修の機会を設けている。	恒例化しているクリスマス会を今後も続けていき、保護者同士の交流やきょうだいの交流にも繋げたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	公式LINEを活用している。ホームページや紙面でのお便り、LINEを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	電話やLINEを利用している。	面談に関しては、外出が困難な家庭に対しては、訪問することで面談の機会を設ける。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	今年度も機会がなかった。	
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	予防接種については確認をしていない。	連絡帳での体調についてのやり取りをしたり、契約時にしっかりと聞くように心がけている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	現在利用中の子どもに対象児はいない。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	小さな事例でもヒヤリハット報告書に記載し、ミーティングで共有している。	ミーティングで解決策を考えるようにしていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年3回の研修の機会を設けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%	身体拘束を行う可能性が高い子ともは現在利用していないため、支援計画は記載していない。契約時には同意を得ている。契約時に了解を得ている。	